

「使い捨て」品など入り込む余地のない、正しい物遣いの心を感じて下さい。

京都 和 こ も の 帖

山と溪谷社



〔文〕中井 忍
〔写真〕ハリー中西

何しろ著者が自分なので、少々気後れしたのですが、本誌編集長より「裏話を教えて下さいよ」ということで…。いや、たいした裏話はないんです。いつも計画的でない私に、几帳面な巨匠ハリー中西さん（同著の撮影を担当）が、イライラしはる場面が何度かあったくらいで…。それでも、なんとか書店に並べていただけたのは、忍耐強いまわりの皆さんのおかげです。

この本は、「ものを大切にしたい」かつての日本人の心にたちかえて、「和こもの」を使ってほしいという願いをこめ、つくったものです。

ひとつのものを愛おしみ長く使い、「人生の相棒」にさせていただくためのガイドブックとでも申しましょうか。ですから紹介しているものは「一生もの」といえる丹精込めてつくられたもの。あるいは一度使ったら手放せなくなり、何度も買い求めてしまう品です。

巻頭で、マリンバ奏者の通崎睦美さんが、そのお手本を示して下さっています。ほかにはない自分だけの一品をつくるなど、上級者の「和こもの」との付き合い方がよくわかるはず。大切にしたいからこそ、自分でも時間を惜しまず工夫する。

「簡単にものを捨てる時代はもう終わりにしたい」、そう思う方にぜひ見ていただきたい一冊です。

(中井 忍)

- 「京都 和こもの帖」
- 発売中
- 山と溪谷社 03-5275-9064
- 一般1400円+税 ISBN978-4-635-08003-3

そろそろ本物の
和こものが欲しい。

お洒落小物から暮らしの中に息づく小物まで、和テイスト香る京都の逸品を集めました。
「使い捨て」品など入り込む余地のない、正しい物遣いの心を感じて下さい。

～京女・真摯のactive life～

月刊 芸妓自身!!

「フレッシュ舞妓Haaan!!!に聞く」の巻

今回は今年の3月20日にお店出し（お座敷デビュー）をしたばかりの「真希乃ちゃん（私の大っ好きな舞妓さんの簪チャラチャラ～がよお似合いますねえ～）」に、リアルな「舞妓ライフ」を聞きました！



祇園の「OKU (P.5に載ってます)」というカフェでインタビュー。立場上、姉さん（私）と妹分（後輩）で、普段お稽古やお座敷以外の接触は少ないので、彼女もちよっぴり緊張気味?! でもなかったかな（笑）。

岐阜県出身の彼女。父上の知人の知人が置屋さんの息子さんだったそう。それまでは美容師を昔から目指していて、「髪の毛をさわったり、お化粧をしたり、綺麗にする事が好きでした」というお洒落好き。仕込みさん時代（修行期間）も可愛い洋服を着て、髪の毛も「誰に見せんの？」っていうくらい凝ってましたねえ。

MAKOTOブログ 京女のつれづれ草
<http://www.cafeblo.com/kyoto/>

MAKOTO率いる京都発信エンターテインメントチームHP
<http://www.chimalabel.com>

只今CD発売中 featuring MAKOTO
「M.O.N.J first mini Album “UNKNOWN/安穩”



「都をどり」の手伝いでは「姉さん方の荷物が一度に運びきれず、何回も置屋さんと楽屋の往復が一番辛かった」し、「時々はお友達と遊びたいなあ…っと思うことはありました」という素直な10代。でも一度も辞めたいと思ったことは無いそうぞす。

「舞」の他に習いたいお稽古は「笛」。憧れのお姉さんも笛吹いてはるしね！「もし後輩ができたなら親切にしてあげられるように自分なりに精一杯頑張りとっておす」。道行く人から「舞妓さんやー！」の声が聞こえた時は「スターになった気分ぞす」と、嬉しさいっぱい。

「今は舞妓さんの格好してる時が一番好きぞすけど、公休日に雑誌を見て頭をつくってお洒落をすんのも待ち遠しおす」。だいたい舞妓さんは一年経つと、更に美しくなっていくかはりますので楽しみです♪

しかし、人のコト書くのって凄く難しいぞすねえ。
ライターの皆さんリスペクト!!!